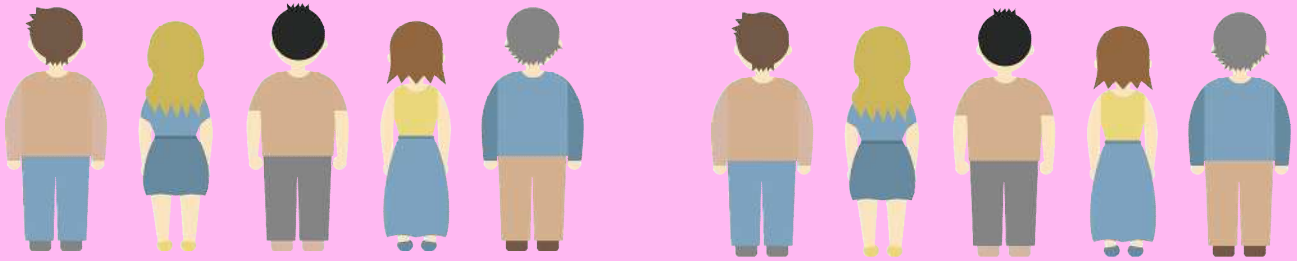


十人十色

～自分軸で生きられる社会に～



令和6年度

ひと ひと

あさか女と男セミナー報告書



はじめに

本市では、「男女の輪が素敵な朝霞をつくる～男女平等社会をめざして～」を合言葉とし、男女平等に係る活動を支援する総合的な拠点施設である、それいゆぷらざ(朝霞市女性センター)を中心に、さまざまな施策を進めています。

「あさか女と男セミナー」は、男女平等に関する情報を提供するとともに、その学びを通じて、参加者一人ひとりの男女平等意識を高め、性別にかかわらず、その持てる力を発揮し、社会や地域で活躍できる人材育成を目的に、公募による「あさか女と男セミナー企画・運営協力員」と協働して毎年度開催しています。

今年度のテーマ『十人十色～自分軸で生きられる社会に～』は、十人の人がいれば、十人の個性や色があるように、他人に左右されず、自分の考え(らしさ)を持って生活をして欲しいというメッセージを込め、セミナー企画・運営協力員会議で決定しました。

また、今年度は、第1部・第2部は対面式講座、第3部をオンデマンド動画配信(市公式 YouTube による限定公開)として、全3部の講座を実施いたしました。

魅力的な講師陣の皆さまにご講義いただき、受講者が、自分自身への気づきや他者を理解するためのヒントを得られるような講座となったのではないかと思います。

この報告書が、より多くの市民の方々の目に留まり、誰もが性別に関わらず活躍できる男女平等社会の実現に向け、より一層理解を深めていただく一助となれば幸いです。

令和7年3月

それいゆぷらざ(朝霞市女性センター)

あさか女と男セミナー企画・運営協力員



— 目 次 —

第1部 多様な性について考えてみよう	1
--------------------------	---

講師／特定非営利活動法人 LGBT の家族と友人をつなぐ会

なかじま じゅん
中島 潤 氏

第2部 α世代に必要な性の知識～みんなで性教育を考えよう～	3
-------------------------------------	---

講師／神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科 准教授

たかはし さわこ
高橋 佐和子 氏

第3部 男性の生きづらさと男女共同参画	5
---------------------------	---

講師／一般社団法人 日本男性相談フォーラム代表理事

ふくしま みちひと
福島 充人 氏

受講者アンケート集計	7
------------------	---

あさか ^{ひと} 女と男 ^{ひと} セミナー企画・運営協力員を終えて	9
--	---

ちらし	11
-----------	----

ひと ひと
*この報告書は、「あさか女と男セミナー企画・運営協力員」と協働で作成しています。

第1部「多様な性について考えてみよう」

開催日時:令和7年1月19日(日) 午後2時～4時

参加人数:14人

講師:特定非営利活動法人 LGBT の家族と友人をつなぐ会 なかじま じゅん 中島 潤 さん

プロフィール

東京外国語大学卒業、武蔵大学大学院人文科学研究科博士前期課程修了、修士(社会学)。国家資格キャリアコンサルタント。大学在学中、社会学ゼミにて国内外のマイノリティを取り巻く課題について学び、性の多様性をテーマにした発信活動を開始。大学卒業後、民間企業勤務を経て、大学院にて社会学を専攻。現在は、NPO 職員としての仕事と並行し、各地の行政や学校、企業にて、「多様な生き方、多様な性のあり方」をテーマにした発信活動を続け、児童向け書籍の監修や、市民学習プログラムのアドバイザーなどをつとめる。

○内容

- ・LGBTQ ユースの現状
- ・LGBTQ と職場の現状
- ・SOGIE インクルーシブ
- ・誰かから相談・カミングアウトを受けたら
- ・ハラスメントかも、と思ったら

○感想

LGBTQ は今では概念として幅広く人口に膾炙^{かいしゃ}している印象がありますが、それでも正確に理解されているかと言うとそうとも言えない現状に感じます。性に関してマジョリティの人とは違う人たちと漠然と考えられていて、具体的にそう公言している有名人と結び付けて頭の中に入れていたという人が大多数ではないでしょうか。そもそも、それをどう理解して、どう対応するべきかなどは流動的で、常に考えてみる必要があります。専門的に研究されている方のこうしたお話は、貴重な啓発の機会となりました。

今回の講義で最も役立ったのは、アライとなるために、具体的な状況に置かれた時にどう対応するのが好ましいかを学んだことです。例えば、自分より立場が上の人、年齢が上の人などがハラスメントとも思える発言や行動をした時に、むげに非難はできないでしょう。また、若年者であっても、一方的な非難はできないでしょう。ではそうした時にどうするのがいいか、考える材料を与えてくれました。

良い方向に、自分自身を変えていく、社会を変えていくために、さりげない自然な対応ができるように、みんなで協力しあっていければと思いました。

《受講者の声》

★とても分かりやすく、LGBTQ の人の抱えている困りごとに気づけました。特に、自分の特権性を自覚するということにハッとしました。何のカミングアウトをしなくても困らない生活を送っているんだなと気づけました。ありがとうございました。

★社会の構造を変えていくために、大人の私たちの学びが必要と感じました。学ぶだけでなく、自分にはどんなジェンダーバイアスがかかっているのか、ワークをして出していけないと、自覚ができなとも感じました。本もたくさん読んでみようと思います。ありがとうございました。

★バイアスを持つつもりはないけれど、どうしても自分の中にあることを感じます。無理して、この感情は変えられないですが、今日のお話を伺って、自分にも小さなことでもできるかなと思うことができました。今日は参加させていただいてよかったです。本当にありがとうございました。

★とても分かりやすく、どうやってよくしていったらよいのかなど、たくさん考えられる内容でした。周りに広めていけるよう頑張りたいです。

《講義の様子》



第2部「α世代に必要な性の知識～みんなで性教育を考えよう～」

開催日時:令和7年1月29日(水) 午後2時～4時

参加人数:22人

講師:神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科 准教授 ^{たかはし さわこ} 高橋 佐和子 さん

プロフィール

新潟大学特別別科修了後、養護教諭として7年勤務し、浜松医科大学大学院修士課程に進む。その後再び養護教諭として7年の勤務を経て、聖隷クリストファー大学に就職。在職中に国際医療福祉大学博士課程修了(看護学博士)。2018年4月より神奈川県立保健福祉大学に異動し、現在に至る。研究分野は学校保健。健康教育(おもしろ健康教育研究所)や養護教諭の職能開発(スキルラダー研究会)に関する研究に取り組む傍ら、性教育を中心に年間15回程度小・中・高等学校等での講演を行なっている。

○内容

- ・α世代の性事情・新たな課題
- ・リプロダクティブ・ヘルス／ライツ
- ・ライフデザイン
- ・ネットリテラシー

○感想

学校教育の現場で生徒たちへの講演経験の豊富な高橋佐和子さんのお話は、考えさせられる部分が多かったです。リプロダクティブ・ヘルス／ライツの考えや包括的性教育の観点から、性教育というのは自分の身体や他者の身体を守ることにともながり、被害者になること、加害者になることを防いでいける重要な教育だと感じました。学校の現場では、まだまだ「性教育」と聞くと蓋をしたい雰囲気もあるというのは残念ですが、行政である市の取組のセミナーでこういったトピックが取り上げられたのは、朝霞市で育っていく子どもや若者たちの将来に期待が持てるなあ、と漠然とですが思いました。性に関することは恥ずかしいことではなく、私たちの身体の話であり、正しい知識を学ぼうという姿勢がもっと広がってほしいと思いました。

また、講師のエンターテインメント性を含んだ教育機関向けの講義の一部は、とても楽しく、とっつきやすそうな雰囲気を覚えました。「性教育をしっかりとやっていこう！」という試みにおいて、学校側や生徒側、さまざまな立場の人に「伝えること」に重きを置いた工夫がたくさん感じられました。

私の子は今、小学生です。「学校はあてにならないから家で性教育をしっかりしよう」と言っているだけでなく、学校でも少しずつ子どもたちの発達段階に見合った「性教育」ができるようになるには、市民としてどう働きかけていったらいいのだろうか考えるきっかけにもなりました。

《受講者の声》

★私のような年齢の者には、「今の時代はそうなっているのか」と、びっくりというのが本音ですが、とてもありがたい時間でした。孫が多くおります。ぜひ、性の話を恥ずかしがらずにしたいと思っております。ありがとうございました。

★小中学生に対する性教育。昔とまったく変わらないとのことのお話。このままではいけないということ。話だけでなく、実際変えていかなくては、こどもたちの人権、こどもたちの未来を救うことができないと思います。高橋先生のされている活動をどんどん広げていただきたいです。本日はありがとうございました。

★テーマ・内容ともに、よく参考・勉強になりました。今後も、性に対するセミナーを行ってほしい。

★とてもよいセミナーでした。小学生の子がいて、性教育のしかたを日々どうしたらいいか考えているので、ためになりました！ありがとうございました。

★性教育に LGBTQ のことにも触れるのがとてもいいと思った。明るい雰囲気と、きちんと自分で考えてもらうという姿勢が大事。 わからない、困った時には、親以外にも相談できるようにするのも必要だと思った。

《講義の様子》



第3部「男性の生きづらさと男女共同参画」

配信期間:令和7年2月5日(水)～2月18日(火)

申込人数:86 人 視聴回数:166回

講師:一般社団法人日本男性相談フォーラム 代表理事

ふくしま みちひと
福島 充人 さん

プロフィール

男性の悩み相談をはじめ、父親が自身の子育てについて語る『パパの子育てカフェ』に携わる。結婚直前の30歳、体調を崩し職を失ったことをきっかけに男性としての生きづらさに気づき「自分らしく生きたい」と強く願うように。日本で初の男性相談窓口『男』悩みのホットライン(1995年設立。窓口名と団体名同じ)の代表を経て、一般社団法人日本男性相談フォーラムを設立。男性がより自分らしく生きることができる社会を目指す。

○内容

- ・『男』悩みのホットラインの誕生について
- ・男性は何をどう悩むのか
- ・「男らしさ」が招くかもしれない生きづらさ
- ・夫婦の相談から見える生きづらさ
- ・男らしさの鎧を脱ぐ
- ・男女共同参画について(ジェンダーに縛られない生き方)

○感想

男性の生きづらさが注目されることが少ない中、とても意義のあるセミナーだと思いました。アメリカの学校現場では、いじめなどが発生すると、いじめをした加害者側にもカウンセラーがつくことが多いようです。多くの場合、加害をしてしまう、または加害をしやすい状態になる心理的要素があるようです。男性が加害者側に立ちやすい社会のあり方やジェンダーの在り方は、考えていくべき重要なトピックだと思いました。

男性相談の中で、加害の度合いは低いものの、自分が加害をしているという意識をしっかり持っている人も一定数いるという話が出てきました。社会の中で男性が「男性らしさ」という鎧を脱ぐことができれば自然と「自分のしようとしていることは加害なのでは？」と気づきやすくなり、また、その気づきを「相談」しやすい社会になるのではないかと思います。ひいては、それが被害を受ける人の減少にもつながるのではないかと感じました。

また、ハラスメントとパワーバランスの話も出てきました。日本社会では、「ハラスメント＝セクハラ」「セクハラ＝女性が受けるもの」というステレオタイプが依然として根強いですが、ハラスメントとは性的なものだけではなく、ジェンダーに関係なく誰もが受ける可能性があるものだという意識が、もっと広がってほしいと思いました。今回のような講義は、その気づきのきっかけになると感じました。

《受講者の声》

- ★男性も女性も、生きづらさを感じる背景には、社会的に作られたジェンダーがあるというお話に、なるほどと思いました。自分でも気づかないジェンダーに、どうやったら気づけるか。女性は、人とのコミュニケーションが男性に比べれば得意な場合が多いので、誰かと話して気持ちを軽くできるが、男性はなかなか弱さを見せられず、孤立しやすいことがわかりました。誰かに相談したり話すことを、男性自身が受け入れることができたなら、苦しさを軽減できるのになあと思います。
- ★「男性だから〇〇しなければならない」というプレッシャーを感じながら、日々生活をしている人がほとんど、そして大多数の方から、そのように認識されているのが現状であり、この動画では、「男性でも悲しんでいいんだよ」というマインドセットになることで、少し肩の荷が下りたような気がしました。後輩や部下に男性がいれば、積極的に声をかけて、暖かい環境を作っていきたいと思いました。
- ★「男らしさの鎧」という表現がとても印象的で、「男性の生きづらさ」を象徴する言葉だと感じた。男性である自分が、自然体で生きられるようになるためのヒントをもらえて、とても有意義な研修となりました。
- ★無意識に男性が背負う責任を感じました。男性も女性も、それぞれの生きづらさから解放される世の中になりますように。

《講義の様子》

ジェンダー&ダイバーシティ講座
令和6年度 あさか女と男セミナー

十人十色
～自分軸で生きられる社会に～

第3部 「男性の生きづらさと男女共同参画」

講師 福島 充人（ふくしま みちひと）氏
（一般社団法人日本男性相談フォーラム 代表理事）

男性のライフサイクル別（幼児期、学童期、成人期など）に抱える悩みや生きづらさについて考えていきます。「男らしさ」という固定観念にとらわれず、より「自分らしく」生きるための ヒントを一緒に見つけてみませんか？



主催：朝霞市 企画・運営：あさか女と男セミナー企画・運営協力員

令和6年度あさか女(ひと)と男(ひと)セミナー

ジェンダー & ダイバーシティ講座「十人十色 ～自分軸で生きられる社会に～」

参加者アンケート集計結果 回答件数:73名

問1. あなたの性別・年代を教えてください。※記載は任意です。

性別	女性	男性	その他	無回答	合計
第1部	7	4	1	4	16
第2部	8	9	1	6	24
第3部	14	18	1	0	33
合計	29	31	3	10	73 (人)

年代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
第1部	0	1	3	6	3	4	17
第2部	0	7	3	10	3	1	24
第3部	1	10	11	7	4	0	33
合計	1	18	17	23	10	5	74 (人)

問2. 今回のセミナーはどちらで知りましたか？(複数回答可)

	広報	ホームページ	市公式X	Facebook	市公式LINE	チラシ・ポスター	紹介	その他	無回答	合計
第1部	5	5	0	0	0	6	4	2	0	22
第2部	5	6	1	0	1	5	5	5	1	29
第3部	7	3	0	0	0	1	17	5	0	33
合計	17	14	1	0	1	12	26	12	1	84 (人)

問3. 今回のセミナーの参加理由は？(複数回答可)

- ①テーマ・内容に興味があったから
- ②講師の話を聞きたかったから
- ③以前にも参加したことがあったから
- ④知り合いなどに誘われたから
- ⑤会場が行きやすい場所だったから
- ⑥その他

	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答	合計
1部	14	7	0	0	5	1	0	27
2部	13	6	1	6	2	4	1	33
3部	19	4	2	11	2	6	0	44
合計	46	17	3	17	9	11	1	104 (人)

問4. セミナーの内容などについて、近いものを選んでください。

満足度

	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	無回答	合計
1部	15	1	0	0	0	0	16
2部	20	2	0	0	0	2	24
3部	19	9	4	0	0	1	33
合計	54	12	4	0	0	3	73 (人)

わかりやすさ

	わかりやすかった	ややわかりやすかった	どちらともいえない	ややわかりづらかった	わかりづらかった	無回答	合計
1部	15	1	0	0	0	0	16
2部	20	1	0	0	0	3	24
3部	23	6	3	1	1	0	34
合計	58	8	3	1	1	3	74 (人)

セミナー時間

	長い	やや長い	ちょうど良い	やや短い	短い	無回答	合計
1部	0	0	16	0	0	0	16
2部	1	3	12	0	0	3	19
3部	3	19	10	0	0	1	33
合計	4	22	38	0	0	4	68 (人)

問5. 今後のセミナーで取り上げて欲しい内容、テーマ等は何ですか？(複数回答可)

- ①男女共同参画(全般) ②SDGs(目標5:ジェンダー平等の実現)
 ③女性の就業支援 ④男性の家事・育児・介護への参画
 ⑤LGBTQなどの性の多様性 ⑥デートDV
 ⑦男女共同参画の視点から考える防災 ⑧ワーク・ライフ・バランス
 ⑨女性の政治参画 ⑩パートナーとのコミュニケーションのコツ
 ⑪DV(配偶者等からの暴力) ⑫性暴力・性犯罪
 ⑬ハラスメント ⑭その他

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
1部	4	6	1	6	6	3	2	28
2部	4	6	2	5	6	4	4	31
3部	6	6	4	7	7	5	6	41
合計	14	18	7	18	19	12	12	100

	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	無回答	合計
1部	7	2	3	4	3	6	1	1	27
2部	7	2	7	4	3	6	1	0	30
3部	16	3	11	9	10	11	5	0	65
合計	30	7	21	17	16	23	7	1	122 (人)

問6. セミナーの受講方法について、一番参加しやすいと感じるものは何ですか？

- ①会場での受講 ②オンライン(YouTube動画配信)
 ③その他

	①	②	③	無回答	合計
1部	9	6	0	2	17
2部	14	7	0	3	24
3部	4	28	1	0	33
合計	27	41	1	5	74 (人)

問7. セミナーに対するご意見・ご感想をお書きください。(自由記入)

※たくさんのご意見・ご感想をいただき、ありがとうございました。ここでは一部を抜粋して掲載しています。

- ・とてもおもしろかった(興味深い)です。ありがとうございました。もう少し深く勉強してみたいと思いました。
- ・とても分かりやすく、どうやってよくしていったらよいのかなど、たくさん考えられる内容でした。周りに広めていけるよう頑張りたいです。
- ・ためになるいいお話でした。子にも伝えたいです。ありがとうございました。
- ・テーマ・内容ともに、よく参考・勉強になりました。今後も、性に対するセミナーを行ってほしい。
- ・自分もこどもがいるので、子育てをするうえでとても役に立ちました。参考にさせていただきます。
- ・知らないことがたくさんあり、今後のためになりました。ありがとうございます。

～あさか女と男セミナー企画・運営協力員を終えて～



講師の先生を選ぶ段階からさまざまな意見が飛び交い、それだけでも貴重な学習体験となりました。女性センターと協力員は持ちつ持たれつで、自分たちが持っているものを生かせると同時に、この活動を通じて自分自身がたくさんのことを学べます。当たり前のことですが、勉強は学校だけで完結するわけではありません。誰でも学校を終えてからの人生の方が長いので、そうした意味でも協力員としての仕事はとても有益だと感じています。

協力員 S

昨年、「男女平等推進情報そよかぜ」の協力員を務めたことがきっかけで、セミナーの協力員にも興味を持ち、今年度応募しました。会議を通じて、朝霞市が人権や男女共同参画の課題にどう取り組み、住みやすい市を目指しているのかを感じることができました。新米の朝霞市民ですが、市を通じて自分にできることは何かと考える機会にもなりました。多忙な中、協力員の意見を積極的に聞いてくださった事務局の皆さまに感謝いたします。今後も機会があれば、ぜひ協力員に応募したいと思いました。

協力員 R



©むさしのフロントあさか



十人十色



～自分軸で生きられる社会に～

男女平等に関する情報を提供するとともに、その学びを通じて一人ひとりの男女平等意識を高め、性別にかかわらず、その持てる力を発揮し、社会や地域で活躍できる人材育成を目的に、セミナーを開催します。

講座内容

第1部

「多様な性について考えてみよう」

(対面式)

令和7年1月19日(日) 午後2時～午後4時

(会場: 中央公民館・コミュニティセンター 集会室)

●講師: 中島 潤(なかじま じゅん)氏

(特定非営利活動法人LGBTの家族と友人をつなぐ会)

「LGBTQ」や「多様な性」などの言葉を耳にしたことはあるけれど、詳しくはわからない...という方も、正しい知識を得てみんなで理解を深めましょう。



第2部

「α世代に必要な性の知識

ーみんなて性教育を考えようー」

(対面式)

令和7年1月29日(水) 午後2時～午後4時

(会場: 中央公民館・コミュニティセンター 集会室)

●講師: 高橋 佐和子(たかはし さわこ)氏

(神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科准教授)

大人から子どもたちに性をどう伝えるか、必要な知識を講演していただきます。健康に自分らしく生きていくために、正しい知識を得て、理解を深めましょう。



第3部

「男性の生きづらさと男女共同参画」

(動画配信)

市公式YouTubeによる限定公開

配信期間: 令和7年2月5日(水)～2月18日(火)

●講師: 福島 充人(ふくしま みちひと)氏

(一般社団法人日本男性相談フォーラム 代表理事)

男性のライフサイクル別(幼児期、学童期、成人期など)に抱える悩みや生きづらさについて考えていきます。「男らしさ」という固定観念にとらわれず、より「自分らしく」生きるためのヒントを一緒に見つけてみませんか?



申込期間・方法

令和6年12月5日(木)～ 定員になり次第終了

※ご参加にはお申込が必要です。※対面式講座は申込先着40名です。

市ホームページの申込フォームに必要事項を記入し、送信してください。電話及び窓口でのお申込も可能です。

注意事項

※第3部のお申込の際、メールアドレスが必要となります。

※動画視聴には、YouTube動画を視聴できる機器が必要となります。

※通信にかかる費用は受講者の負担となります。

※URLの転送・転載、動画の録音や第三者への共有等は固く禁止いたします。

※会場での保育を希望する場合は、12月24日(火)までに電話・窓口にてお申込ください。保育保険料として、お子様1人につき500円がかかります。保育は1歳以上～未就学児が対象となります。(第1・2部 各先着5人)

主催: 朝霞市 企画・運営: あさか女と男セミナー企画・運営協力員

市ホームページ



講師プロフィール

第1部講師

特定非営利活動法人LGBTの家族と友人をつなぐ会

中島 潤(なかじま じゅん)氏

東京外国語大学卒業、武蔵大学大学院人文科学研究科博士前期課程修了、修士(社会学)。国家資格キャリアコンサルタント。

大学在学中、社会学ゼミにて国内外のマイノリティを取り巻く課題について学び、性の多様性をテーマにした発信活動を開始。大学卒業後、民間企業勤務を経て、大学院にて社会学を専攻。現在は、NPO職員としての仕事と並行して、各地の行政や学校、企業にて、「多様な生き方、多様な性のあり方」をテーマにした発信活動を続け、児童向け書籍の監修や、市民学習プログラムのアドバイザーなどをつとめる。

第2部講師

神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 看護学科 准教授

高橋 佐和子(たかはし さわこ)氏

新潟大学特別別科修了後、養護教諭として7年勤務し、浜松医科大学大学院修士課程に進む。その後再び養護教諭として7年の勤務を経て、聖隷クリストファー大学に就職。在職中に国際医療福祉大学博士課程修了(看護学博士)。2018年4月より神奈川県立保健福祉大学に異動し、現在に至る。

研究分野は学校保健。健康教育(おもしろ健康教育研究所)や養護教諭の職能開発(スキルラダー研究会)に関する研究に取り組む傍ら、性教育を中心に年間15回程度小・中・高等学校等での講演を行なっている。

第3部講師

一般社団法人日本男性相談フォーラム 代表理事

福島 充人(ふくしま みちひと)氏

男性の悩み相談をはじめ、父親が自身の子育てについて語る『パパの子育てカフェ』に携わる。結婚目前の30歳、体調を崩し職を失ったことをきっかけに男性としての生きづらさに気づき「自分らしく生きたい」と強く願うように。日本で初の男性相談窓口『男』悩みのホットライン(1995設立。窓口名と団体名同じ)の代表を経て、一般社団法人日本男性相談フォーラムを設立。男性がより自分らしく生きることができると目指す。

お問い合わせ
わせ



朝霞市女性センター

それいゆぷらざ

※火曜日～日曜日 9時～17時

TEL:048-463-2697

E-mail:soreiyu@city.asaka.lg.jp



令和 6 年度

^{ひと}あさか女と^{ひと}男セミナー報告書

発行年月 令和 7 年 3 月

発 行 朝霞市

編 集  ^{朝霞市女性センター} **それいゆぷらざ**

^{ひと}あさか女と^{ひと}男セミナー企画・運営協力員

〒351-0016 埼玉県朝霞市青葉台1丁目7番1号

電 話 048-463-2697

F A X 048-463-0524

E-mail soreiyu@city.asaka.lg.jp